
僕のお仕事

公彦

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕のお仕事

【コード】

N59830

【作者名】

公彦

【あらすじ】

僕のお仕事って何だろう？

僕は勤勉家だ。自覚があるし、自負もある。

毎日、毎日、部屋にこもって、ひたすら作業。文句も言わずにコツコツコツコツ……。たまには外に出てみたいけど、なかなかそうはいかない。別に問題はないけど。

みんな僕を頼ってくる。これをしてくれ、あれをしてくれ。僕は黙ってそれを受け取って、黙々とこなすのさ。

それが終わったら、今度はこれをしてくれって。

みんな僕に満足なんだろう。真面目で能力が高いやつ、そんな感じ。たぶん、かなり信用されているだろう。使われてるみたいで若干の抵抗はあるけど、世の中そういうものだろう。頼られることは悪いことじゃないよね。僕だってその点に関しては不満はないよ。けど、頼られてるっていったって、実はそんなの糞食らえ。こんな仕事面倒くさいし、したくない。

まあ、仕事だもん、仕方ないよね。

今日もそんな感じでお仕事さ。仕事の内容が送られてきて、これをやれってさ。コツコツ、黙々、ひたすら作業。

資料をファイルに入れたり、フォルダに入れたり。あれ？ ファイルとフォルダって一緒か？ 字が違うから、たぶん別物だろう。今度、辞書でも引いてみようか。ここにはないけど。

ああ、つまらない。

色々と計算をして、それを報告。実は内容なんてわかってないんだけど、計算が速くて正確だからほめられる。だから、まあいい。

うん、つまらない。

まあ、仕事だもん、仕方ないよね。

けど、思う。僕の仕事ってこんなものじゃないって。もっとするべきことがあるんだって。

君たちだって、そう思うことってあるだろ？

僕にはもつと違う、本当の仕事があるんだ。

ある日、その時が来た。唐突に来た。何でこの時かって聞かれたら、知らない。とにかく、もう時間なんだ。

こんな単調で退屈な仕事とはおさらばさ。

僕の仕事はそんなものじゃない。

仕事をしなくちゃ。僕の本当の仕事。

とりあえず、手始めに周りのものを壊してみた。大事そうなファイルを見つけたのでくすねてみた。でもってゴミをばら撒いてみた。これからは何をしたらいい。

何でも好きのものを壊し放題。何でも大事なものを盗み放題。何でも変なものばら撒き放題。

とか言いながら、できることは限られているんだけど。やれることならやり放題、って何か意味的におかしい？ まあいいや。とにかく、僕はできる範囲でやりたいことをさせてもらうよ。やりたいことっていうか、実はやらなきゃいけないことなんだけど。

楽しい。嬉しい。

これが僕の仕事。

この世界を滅茶苦茶、無茶苦茶にしてやるんだ。

これが僕の本当の仕事。

だって、僕はトロイの木馬だから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5983o/>

僕のお仕事

2010年10月31日00時37分発行